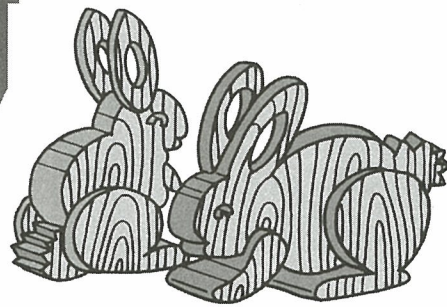




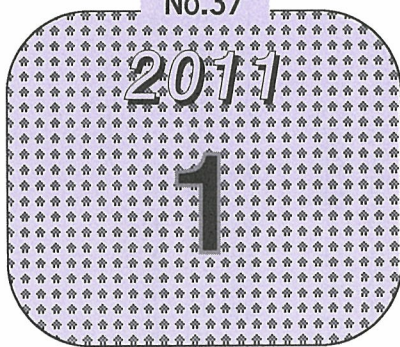
中日本給食だより

卯



2011

No.37

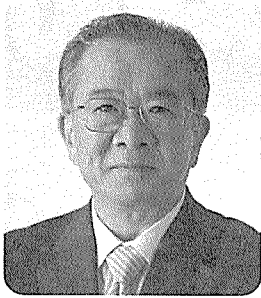


主な内容

- (1面) 干支・卯年のカット
- (2面) 新春を迎えて……愛知県知事 神田真秋
- (3面) 新年の挨拶……中日本学校給食物流通組合連合会会長 青木昌博
- (4～6面) 新年賀詞 (賛助会員・会員)
- (7～8面) 「ウサギと食」に関わる話題
鷹狩の狩猟対象にウサギ
カロリー控えめ、淡泊な食味

明けましておめでとうございます
本年もよろしくお願ひいたします

— 中日本学校給食物流通組合連合会 —



新春を迎えて

愛知県知事

神 田 真 秋

あけましておめでとうございます。

県民の皆様方には、健やかに新春をお迎えのことと存じます。

昨年は、地域の総力を挙げて取り組んでまいりました、二つの大きな事業、国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2010」と「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」を成功裡に終えることができ、本県にとりまして大きな節目の年となりました。県民の皆様方のご支援、ご協力に対しまして、改めて心より感謝申し上げます。

県としましては、これらの成果も踏まえ、地域づくりの羅針盤となる「政策指針2010―2015」と持続可能で質の高い行財政基盤の確立を目指す「愛知県第五次行革大綱」を車の両輪とし、県民の皆様方の日々の暮らしを守る取組はもとより、地域の将来にも目を向け、明日の愛知に繋がる歩みを着実に進めていかなければならないと考えております。

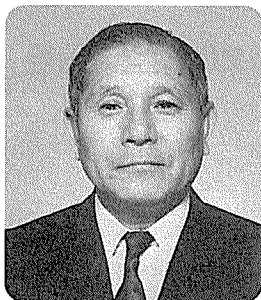
このため、まずは、県民の皆様方の安心・安全を支える社会づくりに向け、福祉、医療、健康に関する施策を総合的に推進するとともに、雇用対策や地震防災対策、治安対策などを積極的に進めていくことが必要であります。

また、本県の活力を支える産業力をさらに強化するため、中小企業対策をはじめとして、自動車産業の強化や航空宇宙産業などの次世代産業の育成・振興、さらには若年層の就労促進など戦略的な施策展開を図るとともに、将来の愛知の飛躍の基盤となる社会資本の整備や人づくりにも力を注がなければなりません。

この地域の経済・雇用環境は厳しさが続いており、本県の財政状況も引き続き大変厳しい状況にあります。こうした中においても、足元を見据えて、県政の諸課題にしっかりと取り組んでいかなければならないと考えております。

私が、知事として県政に携わるようになってから12年、多くの県民の皆様方のご支援をいただき、愛知万博の開催、中部国際空港の開港を大きな契機としながら、愛知の総合力を高めるための取組を全力で進めてまいりました。こうして培われた力を、さらに未来へ繋げるため、引き続き、愛知県政への一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成二十三年 元旦



新年の挨拶

中日本学校給食物資流通組合連合会

会長 青木昌博

新年あけましておめでとうございます。
皆様には、平成二十三年の新春をご清祥のうちにお迎えになられたことと存じ、心よりお慶びを申し上げます。

顧みますに、回復の足取りが重い景気、急激な円高、暮らしに大きな影響を及ぼした異常気象など、昨年も経済・社会の動きはめまぐるしく、また世論の期待を担った民主党政権も鳩山首相が退陣して菅内閣が発足しましたが、七月の参院選で惨敗。参院での過半数割れや党内の内紛などで政治の混迷が続き、今年に持ち越した行政の懸案も数多くありました。今年も環大西洋連携協定(TPP)や、消費税増税論議など大きな政策課題も控えております。いずれも食品流通にかかわる私どもにとってその論議の行方に大きな関心を寄せざるを得ません。

食品業界は、長引くデフレ不況のなか、依然消費が停滞し、熾烈な価格競争の中ではありますが、「食の安全・安心」とともに、国産指向、地産地消のトレンドが強まり、新しい食材の商品開発が求められており、生活に密着した動きが見られます。こうした激変する食環境の中で、学校給食におきましても、学校給食を調理する全国の学校や給食センターのみなさんを参加対象に行われます「学校給食甲子園」では、地場産物を生かした料理をテーマに審査されております。

私ども学校給食の物資流通に関わるものとしては、こうした新しい動きも洞察しながら、基本理念であります「安全・安心」「安定供給」「適正価格」を遵守・推進していくことに努めたいと思っております。

当連合会では、健全な児童生徒のために日頃よりひたすら食育に励んでまいります栄養教諭・栄養職員の皆様がたと密接に連携して食育への積極的な参加を図るとともに、衛生管理の基準遵守、学校給食物資の安全・安定供給に一層努めてまいります。

この一年、皆様方にはご盛業の佳き年であられますこと、また食育に大きな成果を挙げられますことを祈念し、本年も連合会に対して格別なご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年の挨拶と致します。

平成二十三年 元旦

謹賀新年

2011年 元旦

旧年中はご愛顧を賜りありがとうございました

本年もよろしくお祈りいたします

<p>愛知県産ゆば製造販売 株式会社あいち研醸社</p> <p>代表取締役 中山孝夫</p> <p>本社 名古屋市中区栄一丁目十番二十八号 TEL(〇五二)三二二一三三四代 白鳥工場 名古屋市中区栄一丁目六番三十五号 TEL(〇五二)六七一一〇九四一</p>	<p>佃煮・惣菜・漬物製造 青柳食品株式会社</p> <p>代表取締役 徳永伸一郎</p> <p>千葉県香取市与倉七十三番地二 TEL(〇四七八)五八一〇〇五二 FAX(〇四七八)五八一〇〇五一</p>	<p>株式会社アクシーズ</p> <p>代表取締役社長 佐々倉 豊</p> <p>鹿児島市草牟田二一―一八 TEL(〇九九)二二四一三五五 FAX(〇九九)二二二一六四九四</p>	<p>株式会社アサダ</p> <p>代表取締役 浅田嘉行</p> <p>名古屋市中村区稲西町一八一 TEL(〇五二)四一一八四一 FAX(〇五二)四二二一七九七二</p>	<p>味の素株式会社 名古屋支社</p> <p>名古屋支社長 米田 充</p> <p>名古屋市中区和区阿由知通二―一三 TEL(〇五二)七三五―八四六〇 FAX(〇五二)七三三―八五二三</p>
<p>エム・シーシー食品株式会社</p> <p>代表取締役社長 水垣宏隆</p> <p>神戸市東灘区深江浜町三二 TEL(〇七八)四五一一一四八二 FAX(〇七八)四二二一九三六</p>	<p>大島食品工業株式会社</p> <p>代表取締役 大島一郎</p> <p>名古屋守山区小幡南二―二一五 TEL(〇五二)七九五―〇〇九一 FAX(〇五二)七九五―二五四四</p>	<p>カゴメ株式会社 名古屋支店</p> <p>支店長 川村 修</p> <p>名古屋市中区錦三丁目十四番十五号 TEL(〇五二)九五―一三五八 FAX(〇五二)九七―一四一〇六</p>	<p>株式会社かね貞</p> <p>代表取締役社長 松原邦夫</p> <p>愛知県みよし市助生町 TEL(〇五六)三三四―七五五〇 FAX(〇五六)三三四―七五五一</p>	<p>神谷醸造食品株式会社</p> <p>取締役会長 神谷 啓</p> <p>豊田市高岡町巾着二番地 TEL(〇五六)五二―一三二二 FAX(〇五六)五二―一三二二</p>
<p>株式会社 極洋 名古屋支社</p> <p>支社長 岡本榮介</p> <p>名古屋市中区東桜一―四一三 大信ビル5階 TEL(〇五二)九五五―八二五〇 FAX(〇五二)九五五―八二五〇</p>	<p>ケンコーマヨネーズ株式会社 名古屋支店</p> <p>支店長 田崎英輔</p> <p>名古屋市中区一社二丁目七番三三 TEL(〇五二)七〇九―二二六〇 FAX(〇五二)七〇九―二二二〇</p>	<p>会報 自費出版物・名簿等各種印刷 株式会社言文社</p> <p>代表取締役 河村雅彦</p> <p>名古屋市中区枇杷島二丁目六一五 TEL(〇五二)五八三―一四四五 FAX(〇五二)五八三―一七五六</p>	<p>コッコ株式会社</p> <p>代表取締役 竹内隆之</p> <p>知多市南粕谷新海二丁目十番地 TEL(〇五六)四二二―二三八七 FAX(〇五六)四三二―二三八六</p>	<p>三井住友海上火災保険株式会社 三井住友海上きらめき生命保険株式会社 有限会社 さんゆう 代理店</p> <p>代表取締役 坂本文一</p> <p>愛知県海部郡蟹江町大字蟹江新田字百屋二―一八 TEL(〇五六)七九四―四七七〇 FAX(〇五六)七九四―四七七一</p>

謹賀新年

2011年 元旦

旧年中はご愛顧を賜りありがとうございました
 本年もよろしくお願ひします



<p>すぐる食品株式会社</p> <p>代表取締役 宮崎 勇二</p> <p>東京都目黒区緑が丘二一七七一 TEL(〇三三)三七八一六三三(代) FAX(〇三三)三七二四一七九三</p>	<p>ISO9001認証取得 大栄食品株式会社</p> <p>代表取締役 吉村 猛</p> <p>本社工場 岐阜県羽島郡笠松町門間二二八八 TEL(〇五八)三八八一三三六六 FAX(〇五八)三八八一三三六七 岐阜工場 岐阜市東鶴二丁目二五番地 TEL(〇五八)二七六一四五二 FAX(〇五八)二七六一三七〇二</p>	<p>ティーオー食品株式会社</p> <p>代表取締役 高橋 正則</p> <p>東京都豊島区南長崎一―二一四 TEL(〇三三)三九五二一三八一 FAX(〇三三)三九五〇一八六九三</p>	<p>テーブルマーク株式会社 名古屋支社</p> <p>名古屋支社長 川井 信男</p> <p>名古屋市中区伊勢山二―十二一 JT名古屋ビル三階 TEL(〇五二)三三二四二二〇 FAX(〇五二)三三二四二二〇</p>	<p>天狗舌詰株式会社</p> <p>代表取締役 伊藤 圭太郎</p> <p>名古屋市中区金山一―二一四 金山総合ビル六階 TEL(〇五二)三〇〇一五五五 FAX(〇五二)三〇〇一五五五</p>
<p>株式会社ニチレイフーズ</p> <p>中部支社長 木村 順</p> <p>名古屋市熱田区川並町二番十六号 白鳥ビル六階 TEL(〇五二)六八二二五〇三 FAX(〇五二)六八二二六九五</p>	<p>日華油脂株式会社</p> <p>代表取締役 門田 茂</p> <p>東京都中央区明石町八一―一 TEL(〇三三)五五五五〇四五 名古屋市中区錦二―八一―九 三井住友銀行名古屋ビル六階 TEL(〇五二)三二九一九六八五 FAX(〇五二)三二九一九六九五</p>	<p>株式会社 ニッコー</p> <p>代表取締役 山崎 雅史</p> <p>神奈川県大和市代官一―一〇―三 TEL(〇四六)二六九一〇二七(代) FAX(〇四六)二六九一〇二八四</p>	<p>日東ベスト株式会社</p> <p>代表取締役 内田 淳</p> <p>名古屋支店 名古屋市熱田区千代田町一七番八号 TEL(〇五二)六八二二二八四 FAX(〇五二)六八二二三九六八</p>	<p>株式会社華枯梗</p> <p>代表取締役 吉村 龍一</p> <p>名古屋市中川区伏屋二―一二五 TEL(〇五二)三〇〇一七八二四 FAX(〇五二)三〇〇一七八一六九</p>
<p>株式会社 富士工芸社</p> <p>代表取締役 山本 博史</p> <p>名古屋市中川区吉津五―八一―七 TEL(〇五二)四三二二二九一 FAX(〇五二)四三二二二九一</p>	<p>不二製油株式会社 東京支社</p> <p>蛋白質販売 第一部部長 伊藤 隆男</p> <p>東京都港区三田三丁目五番二七号 住友不動産三田ツインビル西館 TEL(〇三三)五四一八二八七 FAX(〇三三)五四一八二八七</p>	<p>ホクレン農業協同組合連合会 名古屋支店(JAグループ)</p> <p>支店長 栗田 康宏</p> <p>名古屋市中区丸の内二丁目二番二五号 丸の内STビル七階 TEL(〇五二)二二二二二二二 FAX(〇五二)二二二二二二二</p>	<p>株式会社マメックス</p> <p>代表取締役 葛西 泉</p> <p>西日本営業部 北名古屋市宇福寺中一―二番地 TEL(〇五二)五五八二二六四 FAX(〇五二)五五八二二六四 本社工場 岐阜県関市倉知三―八―五番地の一 TEL(〇五二)二二二二二二二 FAX(〇五二)二二二二二二二</p>	<p>天然調味料メーカー 株式会社マルハチ村松</p> <p>代表取締役 村松 憲行</p> <p>静岡県焼津市下江留一〇〇一―一 TEL(〇五四)六二二一七三七 FAX(〇五四)六二二一七六九</p>

謹賀新年

2011年 元旦

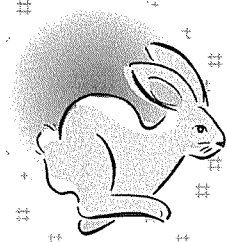
旧年中はご愛顧を賜りありがとうございました

本年もよろしく申し上げます

<p>株式会社マルハニチロ食品 中部支社</p> <p>執行役員 支社長 加藤 丈明</p> <p>名古屋市中区錦三丁目一 十六銀行名古屋ビル十九階 TEL(〇五二)九七二一八〇一 FAX(〇五二)九七二一八〇一九</p>	<p>三島食品株式会社 名古屋営業所</p> <p>所長 中村 和敏</p> <p>名古屋市西区枇杷島五丁目一〇 TEL(〇五二)五二四一〇八八 FAX(〇五二)五二四一四五五</p>	<p>ヤヨイ食品株式会社</p> <p>代表取締役社長 藤 嶋 照 夫</p> <p>東京本社 東京都港区芝公園一丁目十二 TEL(〇三三)五四〇〇一五〇二</p>	<p>理研ビタミン株式会社 名古屋支店</p> <p>支店長 清 水 雅 彦</p> <p>名古屋市東区東桜二丁目三三〇 TEL(〇五二)九三三一〇四一 FAX(〇五二)九三三一〇四八</p>	<p>業務用営業部 西日本営業グループ 名古屋支店 チームリーダー</p> <p>六甲バター株式会社 名古屋支店</p> <p>嶋 谷 雅 芳</p> <p>名古屋市熱田区新尾頭三丁目四十五 TEL(〇五二)六八一六四六一 FAX(〇五二)六八一六四六五</p>
<p>株式会社アイケイ</p> <p>代表取締役 蜂須賀 勝 久</p> <p>本社 安城市横山町大山田中一六番地 TEL(〇五六六)七二一〇一八一 FAX(〇五六六)七四一〇八六八</p>	<p>業務用食品取扱 株式会社工テイオック</p> <p>代表取締役 小 出 眞 彰</p> <p>名古屋市中川区柳川町一五十四 TEL(〇五二)六八二一八六六 FAX(〇五二)六八二一八六七</p>	<p>希望運輸株式会社</p> <p>代表取締役社長 鶴 見 秀 明</p> <p>名古屋市南区丹後通五丁目八番地の一 TEL(〇五二)六二二一七二七 FAX(〇五二)六一二二八〇九</p>	<p>有限会社中部淡水</p> <p>代表取締役 水 野 尚 樹</p> <p>名古屋市昭和区白金一丁目一四 TEL FAX(〇五二)八八一〇〇六七</p>	<p>株式会社ソルミ企画</p> <p>代表取締役 鶴 見 佳 利</p> <p>名古屋市緑区鳴海町字諸の木八三二七六 TEL FAX(〇五二)八七七一一三二八</p>
<p>有限会社林食品商會</p> <p>取締役 後 藤 清 史</p> <p>豊田市堤町上町一〇二番 TEL(〇五六五)五二一四六一 FAX(〇五六五)五二一五三〇一</p>	<p>株式会社名給</p> <p>代表取締役社長 青 木 昌 博</p> <p>名古屋市熱田区新尾頭二丁目二番六一 TEL(〇五二)六八一七三三一 FAX(〇五二)六七一一七四四</p>			



「ウサギと食」に関する話題



鷹狩の狩猟対象にウサギ カロリー控えめ、淡泊な食味

◆「ウサギと食」の格言

今年はウサギ年。ウサギにかかわることわざ・格言といえば、「二兎を追う者は一兎を得ず」「始めは処女のごとく、後(のち)は脱兎のごとし」などがよく知られている。しかし「ウサギと食」に関連したものになるとほとんど見当たらない。かろうじて「鷹狩(たかがり)」でつながっている。

鷹狩は、鷹を使って小動

物を捕らえる狩猟の一種

で、徳川家の将軍などは江戸の近くで盛んに行っていた。狩猟対象はヒバリやツグミからキジ・ヤマドリ・カモなどの鳥類が主だが、ウサギなども捕らえた。そのものずばりの表現の格言がある。

「兎を見て鷹を放つ」

同じ意味の言葉で、「兎を見て犬を放つ」というものもある。ウサギを見つけてから鷹や犬をとき放しても遅くない。つま

り、物事は早くにあきらめてはいけない事の例えである。

また、「狡兎(こうと)死して走狗(そうく)烹(に)らる」という。ウサギが狩り尽くされると、猟犬も不要になり煮て食われてしまうという意味だが、それは表面的な解釈。真意

は「敵国が減びたあとには、軍功のあった忠臣も不要とされて殺されてしまう」とこと。

◆ウサギ肉は鳥肉？

鷹狩で捕った獲物は食用にされた。特に将軍家が狩った獲物を下賜物として贈られることは家来にとって名譽とされたという。ウサギも鳥と同一視されて食された。

日本では肉食の歴史は古く古代人はむしろ肉食人種であったが、仏教が渡来してから肉食は宗教上の禁律として避けられるようになり、江戸時代は、仏教の教えから「四ツ足の動物は食べない」という慣習が広まっていた。それにもかかわらずウサギが食用とされたのは、ちよつとしたこじつけが介入する。

ウサギの数え方は、「匹」ではなく、鳥と同じように「羽」で数える。ウサギは獣ではなく鳥の仲間という解釈をしたからである。ウサギをウ(鶉)とサギ(鶯)

に読み分けて、鳥類と同様の「羽」で数え、「四ツ足でない」から食べてもいいという「屁理屈」を通したようである。この「羽」の数え方はあくまでウサギを「食肉」として扱ふ際の数え方だそうで、そうまでしてウサギ肉を鳥肉だとするのは強弁というほかない。

◆幸運を呼ぶ？ウサギ

ウサギは前述の理由から半ば公然と食され、例えば徳川家では、正月元旦に将軍家御座付のお膳には必ずウサギの吸い物を供するのが定めだった。これは家康の祖父・松平清康が流浪して信州林の郷の領主・林光政に身を寄せて世を忍んでいた時、光政が近郊に狩りをして捕らえたウサギを料理して清康にごちそうしたのだが、不思議にその時から徳川家は幸運が続き、家

康の時代には征夷大將軍にまで累進した。そのため家康は毎年林家からウサギを献上させ、元旦にウサギの吸い物を出させてこれを記念としたということである。

「日の初め座付は月の御献立」

「林の中で押へたを御献上」といった川柳が詠まれているが、それらはこのことを示したものである。第一句の「月」は「運の」付きもかけている。

こうした故事もあって、徳川將軍家ではウサギを幸運を呼ぶ、縁起のいい食肉としたのかも知れない。

◆「薬食い」の流行

一般庶民の間では、宗教的理由や生理的理由から肉類を口にしない人が多くいたが、それでもかなりの人は「肉は栄養があり体があ

たたまる」として、薬効果を期待して獣肉を食べた。これを「薬食い」と称した。

野生動物ではイノシシ、シカ、クマ、タヌキ、ウサギなど、家畜ではウマ、ウシ、ブタなどが食べられ、中には大なども食べたという記録がある。鳥類はツルからスズメまでほとんどすべてが食用にされた。

四ツ足の動物は「ももんじ」「ももんが」などと呼ばれていたが、江戸も末期になると、「ももんじ屋」などという店ができて、動物の肉を食べさせたが、これが予想以上に繁盛したようである。

昨年は坂本竜馬ブームに沸いたが、かの司馬遼太郎著『竜馬がゆく』には、豚肉を食べるシーンが描かれている。

「さては薬食い（猪鍋）で

ござるな」

「いいえ、豚でございます」
当時、豚肉が江戸のももんじや（獣肉店）でも売られるようになっていた。略—それまで日本では、豚を飼ったり食ったりする習慣はなかったのだが、このころ、琉球から伝わってきて、江戸の獣肉屋でも、猪鹿のほか豚肉を売るようになっていた。

こうしてみると、幕末期には肉食もかなりポピュラーになってきていたようである。

◆ヘルシーなウサギ肉

ウサギは日本ではあまり食されていないが、外国では、欧米、特にフランス、ドイツ辺りではよく食べられているようで、家によっては、食用ウサギをかなりの数飼っていて、どれも

丸々太らせて売ったりするということである。ウサギの飼育は、繁殖が他の草食動物（牛、羊、馬）や雑食動物（豚、鶏）に比べて有利であることや非常に狭いスペースで飼うことができ、飼料が雑草や野菜くずで飼えることなどから有利であるといわれている。

ウサギ肉の特徴は

- ・ 鶏ささみに近い淡白な味で、くせが少ない
- ・ 高タンパク・低脂肪、リンの含有量が高い
- ・ 多くの料理に気軽に使える

ということ、脂肪分が少なく、カロリー控えめでヘルシーミートとして人気上昇中とか。保水力もありつなぎとしても最適で、挽肉でハンバーグやつくねにするのもお勧めということである。

(W)

中日本給食だより

2011年 1月号 No. 37

平成23年1月15日発行 単価50円

編集発行人 中日本学校給食物資流通組合連合会

会長 青木昌博

〒456-0018 名古屋市熱田区新尾頭二丁目2番7号

富春ビル4F

TEL (052)682-6219 FAX (052)682-8486

ホームページ随時更新中



<http://www.aigakuryu.com>
info@aigakuryu.com

愛知県学校給食物資流通協同組合